

事務事業名		集会所子ども学習会開催事業(葛生地区)					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	生涯学習課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	人権教育係	担当課長名	小曾根治夫	
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 人権意識の高揚					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14357	一般	10	4	1	集会所子ども学習会開催事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S54年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市同和対策集会所条例、施行規則					
	事業区分		実施方法		直営		事業分類		その他市民に対する事業		
	事業区分		リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
集会所担当地域内の小中学生を対象に参加者募集(学校を通じてチラシ配布)を行い、小学生は主に人権学習や仲間作りを中心に年20回、中学生は国語、数学、理科、社会、英語の5教科を中心に年20回。講師は市内小中学校の教諭など。他に少年グループ活動として日帰り交流研修会を実施。講師への謝金の支払い。	集会所担当地域内の小中学生から参加者を募り、子ども学習会や少年グループ活動を行う。子ども学習会は、3月～4月に募集、5月～2月に国語などの教科学習と人権学習を実施した。また、少年グループ活動は、野外活動やレクなどを実施した。講師は、市内小中学校教諭及び民間講師に依頼した。						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	学習会参加者数	人	29	22	25	25	25
	学習会開催回数	回	20	20	18	18	18

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

集会所担当地域内の小中学生	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	集会所担当地域内の小中学生の人数	人	334	317	305	265	264

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

基礎学力を向上させるとともに、人権尊重の精神、集団生活に必要な知識を養ってもらう。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	学習会参加者数/担当地域内の小中学生数	%	8.7	6.9	8.2	9.4	9.5

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

日常生活において、人権を意識している。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	人権講演会参加者で「日頃、人権を意識しながら生活している」と回答した人の割合	%	90.4	93.6	92.0	93.0	93.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	405		321		341		341		341	
	事業費計(A)	千円	405		321		341		341		341	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償費	349	報償費	263	報償費	277	報償費	277	報償費	277
			需用費	54	需用費	54	需用費	59	需用費	59	需用費	59
使用料及び賃借料			2	使用料及び賃借料	4	使用料及び賃借料	5	使用料及び賃借料	5	使用料及び賃借料	5	
人件費	人	1		1		1		1		1		
のべ業務時間	時間	200		200		200		200		200		
人件費計(B)	千円	778		788		788		788		788		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,183		1,109		1,129		1,129		1,129		

事務事業名	集会所子ども学習会開催事業(葛生地区)	担当部	教育総務部	担当課	生涯学習課	担当係	人権教育係
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和54年度に集会所開設と同時に地域住民からの要望により開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成14年3月の地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の期限切れを迎え、同和対策から同和問題を始めとする様々な人権問題を解決していくという一般対策に移行された。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	子ども学習会を開催することにより人権教育の場を提供できる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	人権の尊重される社会づくりは市の責務であり、人権教育を推進する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	対象を拡大することは、現在の実施場所を考慮すると不可能である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	人権学習の時間を増やしたため学習内容としては充分である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	少年グループ活動は、宿泊学習から学習内容の見直しを行い、日帰り学習に変更した経緯があり、削減する余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	集会所事業は、人権教育の場を提供し事業を実施する責務を有するので、受益者負担は求められない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
現状では、基本的人権が十分に尊重されているとはいえず、小中学生に対する学校外での人権教育の場の提供は必要である。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			